

5月12日 朝礼のお話し

一番大事な「聴く」ということ

それでは朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

今日から毎週こうして全校での朝礼をします。校長先生もお話をさせていただきます。一生懸命お話しをするので聴いてくれるとうれしいです。

さて、実は校長先生、毎年最初の朝礼では同じ話をしています。毎年同じ話をするのはそれがとても大切なことだからです。それでは今日のお話です。

みなさんは学校でお勉強するとき、一番大切なことはなんだと思いますか？

国語でも算数でも体育でも音楽でも、どんな授業でも一番大切なことです。

授業だけではなく、お友達と楽しく生活していくためにも大切なことです。それは何でしょう？

それは先生やお友達の話「聴く」と言うことです。

高学年の人は知っていると思いますが、「きく」という言葉にはいくつか漢字があります。

皆さんがよく知っているのは「聞く」、この字だと思います。でも、今日、校長先生がお話しするのはこの「聞く」ではではありません。

もう一つの「きく」です。それはこんな字です。「聴く」これも「きく」と読みます。ではこの「聴く」はどんな意味なんでしょう？

この「聴く」はなんとなく聞くことではありません。一生懸命聴く、必死で聴くという意味です。学校のお勉強や生活ではこの、「ものすごく一生懸命聴く」ことが大切なんです。

ではどうやったらそういう聴き方ができるのでしょうか？

それはこの「聴」という文字の中にヒントがあります。この「聴」という字を分解してみましょう。

まずここです。これは「耳」ですね。耳がちゃんと働くためには自分がおしゃべりしていて他はだめですね。まず耳がちゃんと働くために、自分のおしゃべりはストップです。おしゃべりしながら真剣に聴くことはできませんよね。

次はこれです。横になっていますがこれを縦にすると「目」です。これはお話しを聴くときは話す人をしっかり見るということが大事だと言うことです。

最後はここ、これは「心」ですね。

「心で聴く」というのは、お話しをしている人のこと、お話しをしている中身を一生懸命考えながら聴くということです。

さあ、この三つを合わせると上手な聴き方になります。

つまり、「目と耳と心で聴く」ということです。これが一番大切な聴き方です。校長先生はけやき小を「日本一お話を聴くことが上手な学校」にしたいと思っています。それが校長先生の目標です。一緒にがんばっていきましょう。

それでは校長先生のお話はこれでおわりです。最後まできちんと聴いてくれてありがとうございました。目と耳と心で聴いてくれました。お話しを終わります。